

3. PETフィルムの用途別動向

3.1 電子材料

電子材料分野は「DFR」（ドライフィルムレジスト）と「その他の電子材料」に分類され、「その他」はメンブレンと透明導電性膜が主要用途になっている。電子材料用途の需要比率では、DFRが約40%、その他が60%であり、その他では40%をメンブレン、50%を透明導電性膜が占めている。なお、DFRは帝人デュポンフィルムが60%近いシェアを有している。

電子材料用PETフィルムの需要は2008年まで順調に伸びていたが、金融危機後の世界同時不況から2009年は前年比21%減の1万5,000トンとなり大幅に縮小した。しかし、翌2010年は市場が回復し前年比27%増の1万9,000トン（シーエムシーリサーチ推定）と再び成長軌道に乗っている（表3.1）。

表3.1 電子材料用PETフィルムの国内需要量

（単位：トン、%）

用途	2008年		2009年		2010年		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	構成比
DFR	7,600	103	5,800	76	7,600	131	40
透明導電膜	5,700	104	4,500	79	5,600	124	29
メンブレン	4,500	105	3,600	80	4,500	125	24
その他	1,200	110	1,100	92	1,300	118	7
合計	19,000	106	15,000	79	19,000	127	100

※輸入品を含む。

（シーエムシーリサーチ推定）

表3.2 DFR用PETフィルムメーカー

（単位：%）

メーカー	シェア
帝人デュポンフィルム	60
三菱樹脂	22
東レ	18
合計	100

（シーエムシーリサーチ推定）